

富本班アンケート調査概要

2026.3.12

東京都健康長寿医療センター

分担研究者：岩田淳

実務担当：井藤佳恵、畠山啓、扇澤史子、西牧由加里

1. 実施機関

東京都健康長寿医療センター

三重大学医学部附属病院医学系研究倫理審査委員会にて中央一括審査を受け承認された調査「抗アミロイド抗体薬治療を踏まえた認知症の人の介護家族等への支援の実態調査研究」について、当センター研究倫理委員会（病院部門）にて実施承認を得て行った（R25-102）

2. 実施期間

調査票配布期間：2026年2月2日（月）－2月13日（金）

調査票回収期間：2026年2月2日（月）－2月27日（金）

3. 調査対象者

調査票配布期間に当院 DMT 外来を受診した患者の内訳を、図 1 に示す。

- ①：DMT 外来初診から治療方針の決定までの段階にある患者で、本調査期間中に受診予約があった 10 人

※センシティブな時期であり、治療関係への影響を鑑み、本調査の対象からは除外した。

- ②：当院にて初期投与中の患者で、本調査期間中に受診予約があった 38 人

- ③：当院にて初期投与を行った患者で、現在は他施設にて継続投与中であるが、本調査期間中に定期検査のための受診予約があった 20 人

- ④：当院にて初期投与を行った患者で、レカネマブ 18 か月の投与期間を超えた継続投与を当院で行っている患者のうち、本調査期間中に受診予約があった 8 人

本調査の対象は、上記のうち②（38 人）、③（19 人）、④（8 人）の計 65 人とした（図 1 赤枠内）。

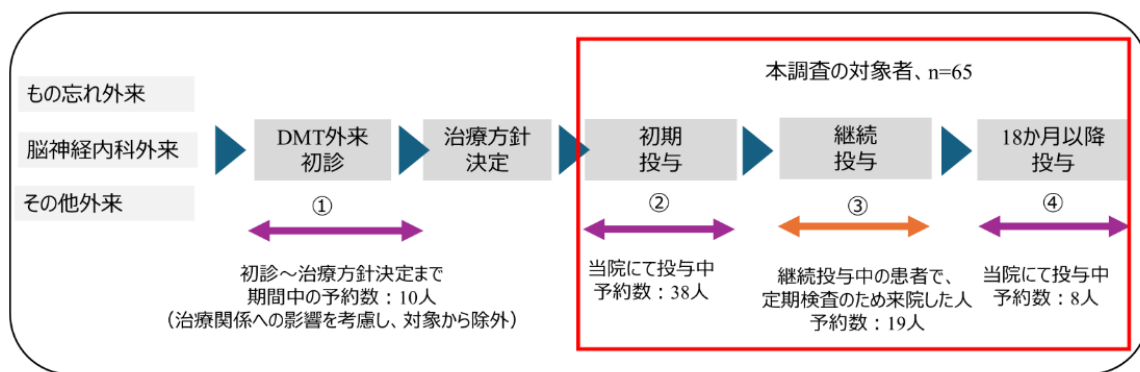


図 1 調査対象者

4. 調査票の配布と回収

- ・ 調査票の配布：外来受診時に、研究実務担当者より手渡しした。
- ・ 調査票回答者の選定：患者の希望に従い、患者もしくはその家族に回答を依頼した。
- ・ 調査票の回収：上記にて選定した回答者の希望に従い、以下のいずれかの方法とした。

① 帰宅前に院内で、回答者がひとりで記入

② 帰宅前に院内で、研究実務担当者が適宜補助しながら記入

③ 帰宅後に自宅にて記入し、返信用封筒にて投函

5. 結果

5.1 回収率

対象者 65 人に調査票を配布し、55 人より調査票の返送があった（回収率 84.6%）。

このうち、研究協力に不同意の意思表示があった 1 人を除く 54 人を分析対象とした（有効回収率 83.1%）。

5.2 回答者の基本属性

1. 回答者の性別

	度数	%	有効%	累積%
男性	24	44.4	44.4	44.4
女性	30	55.6	55.6	100.0
合計	54	100.0	100.0	

2. 回答者の年齢

	度数	%	有効%	累積%
40代	4	7.4	7.4	7.4
50代	10	18.5	18.5	25.9
60代	15	27.8	27.8	53.7
70代	15	27.8	27.8	81.5
80代	10	18.5	18.5	100.0
合計	54	100.0	100.0	

3. 回答者の居住地

度数		%	有効%	累積%
東京都	44	81.5	83.0	83.0
埼玉県	3	5.6	5.7	88.7
千葉県	5	9.3	9.4	98.1
京都府	1	1.9	1.9	100.0
合計	53	98.1	100.0	
システム欠損値	1	1.9		
合計	54	100.0		

4. 回答者の患者の関係

	度数	%	有効%	累積%
本人	12	22.2	22.2	22.2
家族	42	77.8	77.8	100.0
合計	54	100.0	100.0	

4-1 上記設問で、①ご本人（患者様）と回答した方にお聞きします。

患者様の同居家族（ご自分を入れない）は何名ですか？

（敷地内同居や二世帯住宅の場合も「同居」に含めます）

	度数	%	有効%	累積%
0	2	3.7	18.2	18.2
1人	5	9.3	45.5	63.6
2人	3	5.6	27.3	90.9
5人以上	1	1.9	9.1	100.0
合計	11	20.4	100.0	
システム欠損値	43	79.6		
合計	54	100.0		

4-2 上記設問で、②患者様のご家族、③その他と回答した方にお聞きします。

患者様の年齢

	度数	%	有効%	累積%
50代	3	5.6	7.0	7.0
60代	9	16.7	20.9	27.9
70代	19	35.2	44.2	72.1
80代	12	22.2	27.9	100.0
合計	43	79.6	100.0	
システム欠損値	11	20.4		
合計	54	100.0		

患者様の同居家族は何名ですか？（敷地内同居も含む）

	度数	%	有効%	累積%
0	9	16.7	20.9	20.9
1人	17	31.5	39.5	60.5
2人	9	16.7	20.9	81.4
3人	3	5.6	7.0	88.4
4人	2	3.7	4.7	93.0
5人以上	3	5.6	7.0	100.0
合計	43	79.6	100.0	
システム欠損値	11	20.4		
合計	54	100.0		

あなたは患者様のおもな介護者ですか？

	度数	%	有効%	累積%
はい	36	66.7	85.7	85.7
いいえ	6	11.1	14.3	100.0
合計	42	77.8	100.0	
システム欠損値	12	22.2		
合計	54	100.0		

・上記設問で①はい、と回答した方にお聞きします

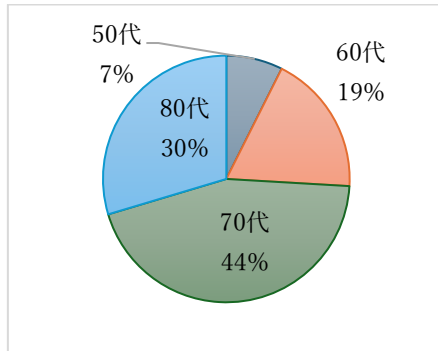
あなたの年齢は 65 歳以上ですか？

	度数	%	有効%	累積%
65歳以上	21	58.3	58.3	58.3
65歳未満	15	41.7	41.7	100.0
合計	36	100.0	100.0	

【回答者基本属性概要】

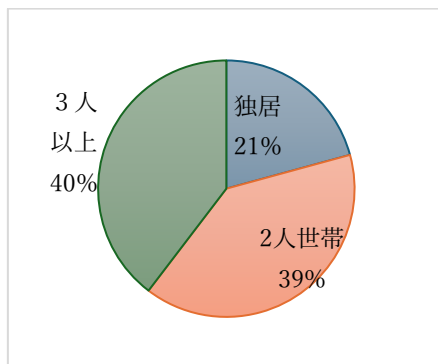
回答者 54 人のうち 42 人が家族であり（77.8%）、そのうち主たる介護者が 36 人（85.7%）であった。主たる介護者の 21 人（58.3%）が 65 歳以上であった

患者年齢分布



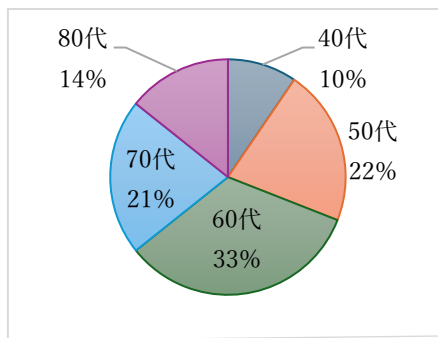
患者の年齢	患者が回答	家族が回答	合計	%
50代	1	3	4	7.4
60代	1	9	10	18.5
70代	6	18	24	44.4
80代	4	12	16	29.6
合計	12	42	54	

患者の世帯形態



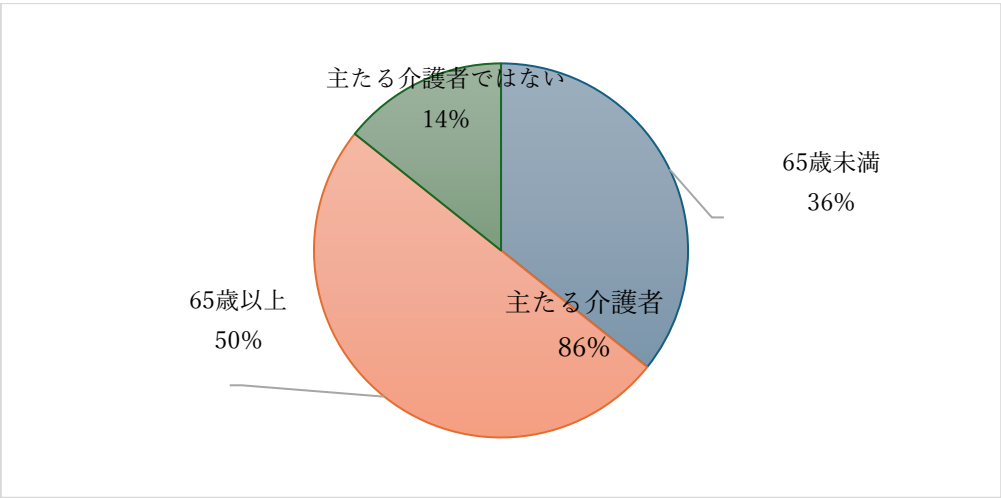
同居者数	患者が回答	家族が回答	合計	%
0人	2	9	11	20.8
1人	5	16	21	39.6
2人	3	9	12	22.6
3人	0	3	3	5.7
4人	0	2	2	37.7
5人	1	3	4	7.6
合計	11	42	53	

家族の年齢分布



	度数	%
40代	4	9.5
50代	9	21.4
60代	14	23.3
70代	9	21.4
80代	6	14.3
合計	42	

調査票に回答した 42 人の家族のうち、主たる介護者は 36 人で、内 21 人（58.3%）が 65 歳以上であった。



5. 東京都健康長寿医療センターへの受診は、どのようにしましたか？

	度数	%	有効%	累積%
かかりつけ医からの紹介	33	61.1	61.1	61.1
家族の希望で直接	9	16.7	16.7	77.8
患者の希望で直接	4	7.4	7.4	85.2
その他	8	14.8	14.8	100.0
合計	54	100.0	100.0	

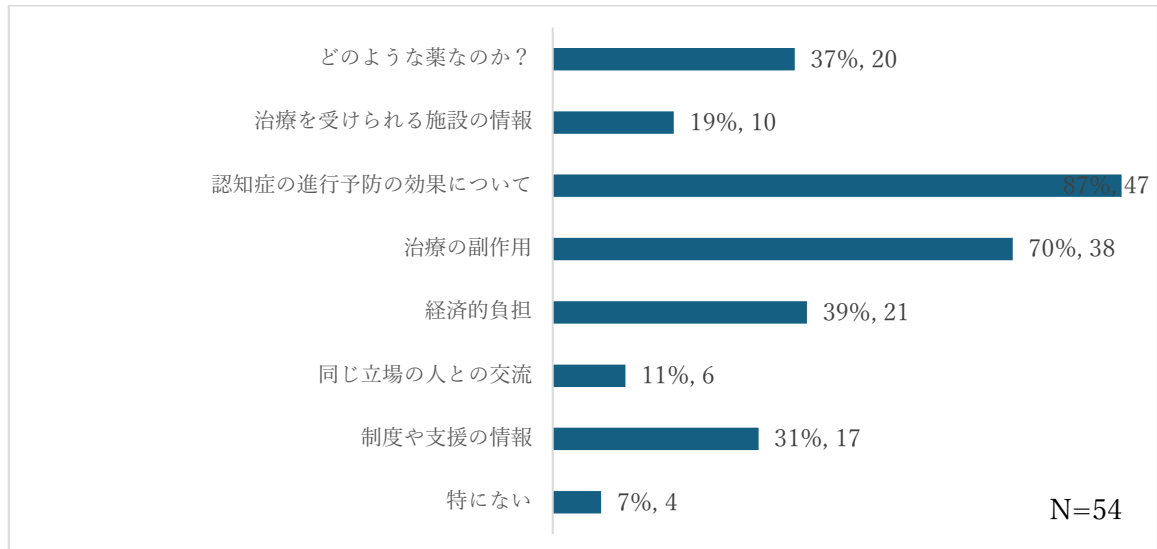
その他自由記載（記載者8人）

- ・ケアマネージャーさんからの情報
- ・最初は治験に参加した
- ・区内のもの忘れ医にかかり、その紹介で受診しました。
- ・まず認知症外来を受診し、家族の希望で紹介してもらった。
- ・救急で入院してから
- ・職場の方の紹介
- ・自宅から近いから
- ・家族の希望でかかりつけ医（ケースワーカー）にリストアップしてもらった中から

ここからは抗アミロイド抗体薬の治療について質問します。

1. 新しい治療（抗アミロイド抗体薬）について関心のあることはありますか？

（あてはまるものをすべて選んでください）



2. 外来で抗アミロイド抗体薬が話題になりますか？

	度数	%	有効%	累積%
よくある	6	11.1	11.8	11.8
時々ある	9	16.7	17.6	29.4
あまりない	21	38.9	41.2	70.6
全くない	15	27.8	29.4	100.0
合計	51	94.4	100.0	
システム欠損値	3	5.6		
合計	54	100.0		

3. あなたご自身またはご家族は下記のいずれかと診断されていますか？

	度数	%	有効%	累積%
MCI	19	35.2	36.5	36.5
AD	25	46.3	48.1	84.6
未診断	5	9.3	9.6	94.2
わからない	3	5.6	5.8	100.0
合計	52	96.3	100.0	
システム欠損値	2	3.7		
合計	54	100.0		

4. 抗アミロイド抗体薬であるレケンビ（一般名レカネマブ）やケサンラ（一般名ドナネマブ）という名前の薬をご存知ですか？

	度数	%	有効%	累積%
よく知っている	34	63.0	64.2	64.2
少し聞いたことがある	16	29.6	30.2	94.3
初めて聞いた	3	5.6	5.7	100.0
合計	53	98.1	100.0	
システム欠損値	1	1.9		
合計	54	100.0		

③「初めて聞いた」→ここで終了

①「よく知っている」、②「少し聞いたことがある」→次に進む

5. 抗アミロイド薬であるレケンビ（一般名レカネマブ）やケサンラ（一般名ドナネマブ）の治療を受けたことがありますか？

	度数	%	有効%	累積%
レケンビ治療中/治療後	27	50.0	55.1	55.1
ケサンラ治療中/治療後	16	29.6	32.7	87.8
受けていない	4	7.4	8.2	95.9
わからない	2	3.7	4.1	100.0
合計	49	90.7	100.0	
システム欠損値	5	9.3		
合計	54	100.0		

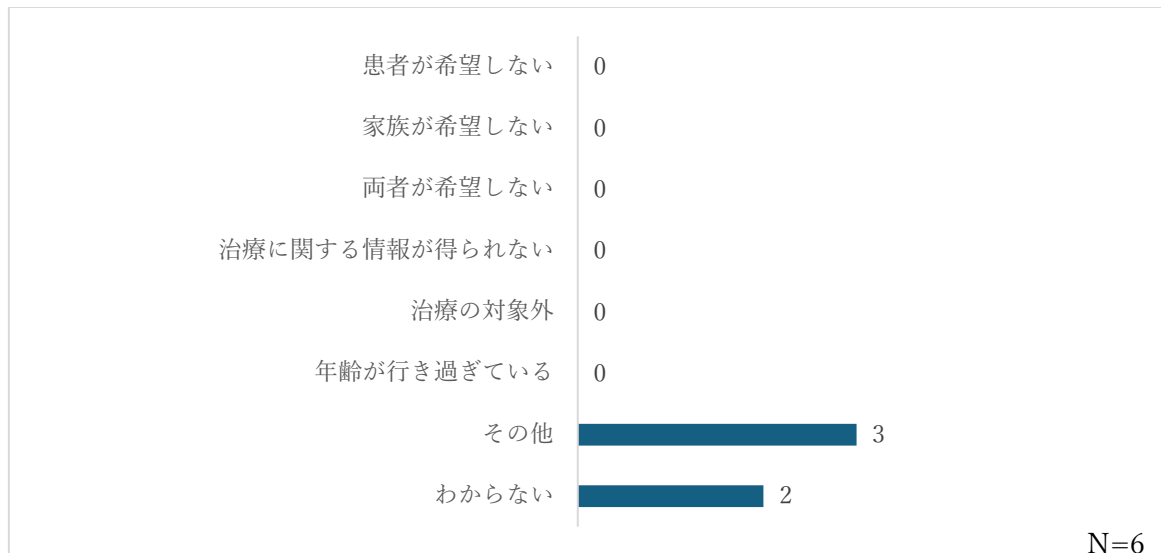
「受けていない」、「わからない」→【セクション A】

「レケンビまたはケサンラの治療中または治療後」→【セクション B】

【セクション A】

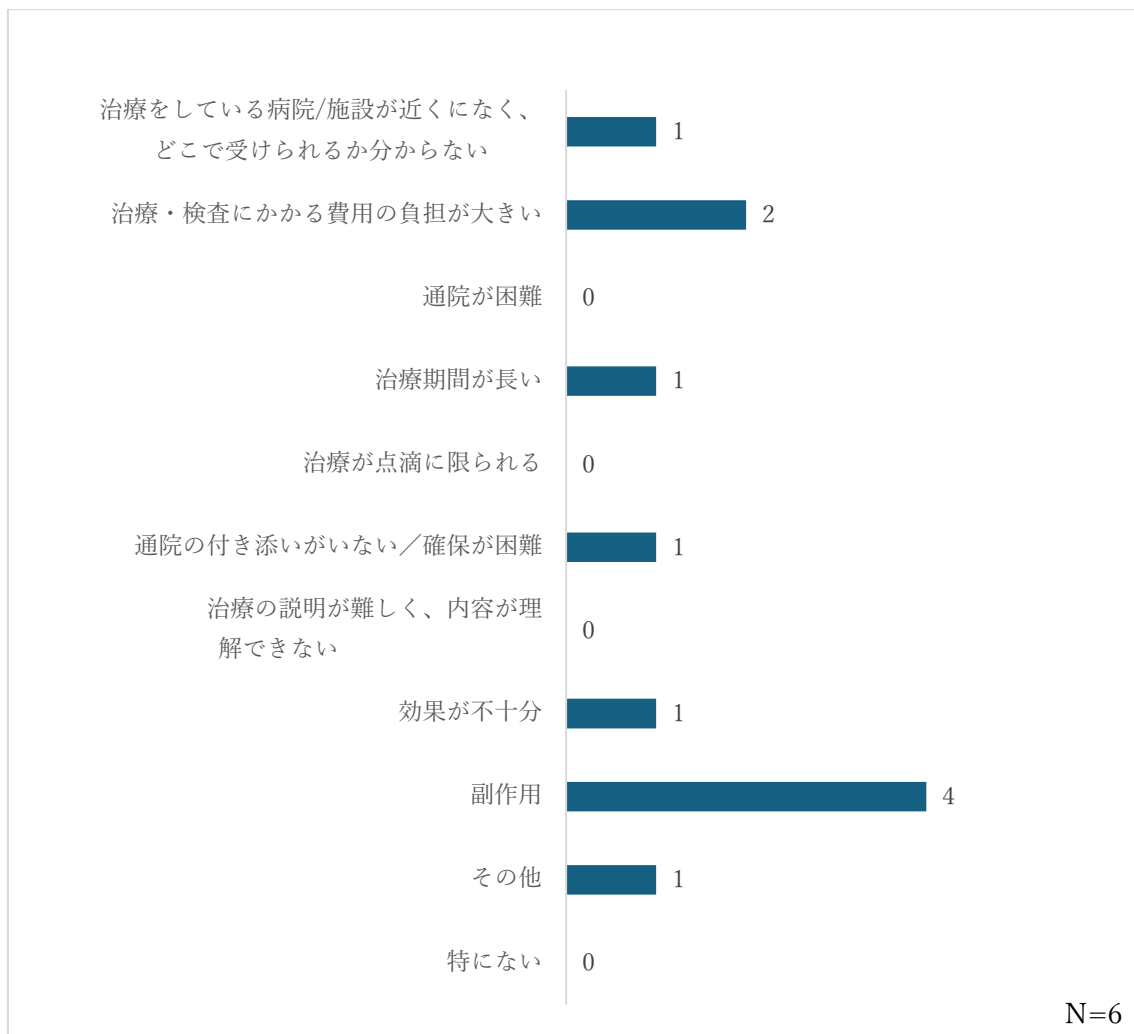
・回答者 6 人

1. 抗アミロイド抗体治療を受けない理由を教えてください。(あてはまるものをすべて選んでください)

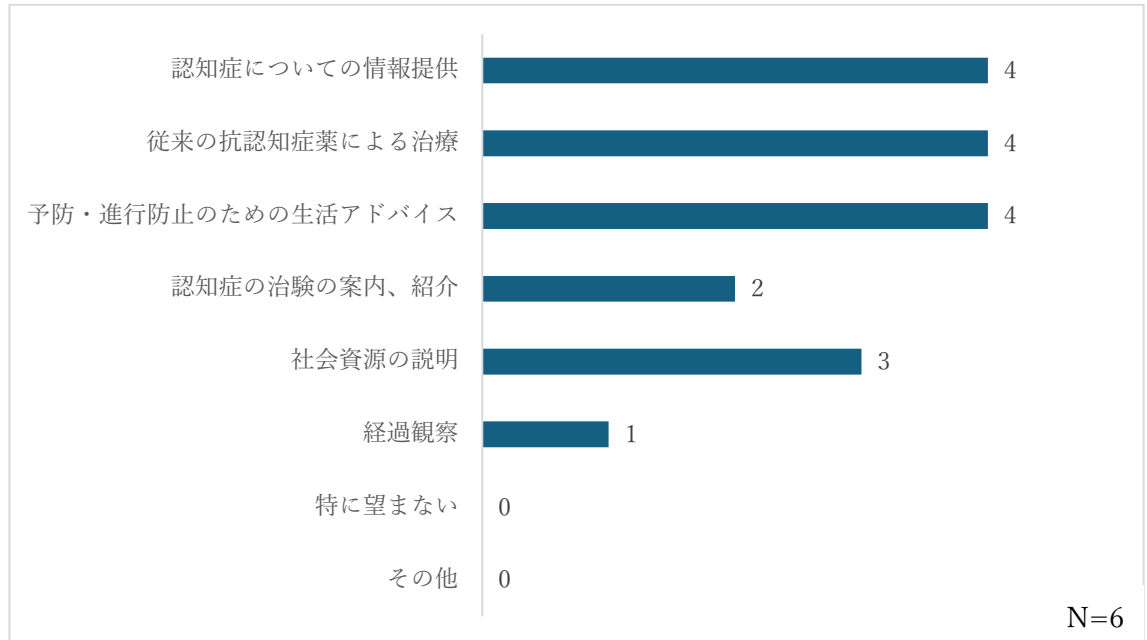


その他自由記載（記載者 3 人）：まだ診断に至っていないため（3 人）

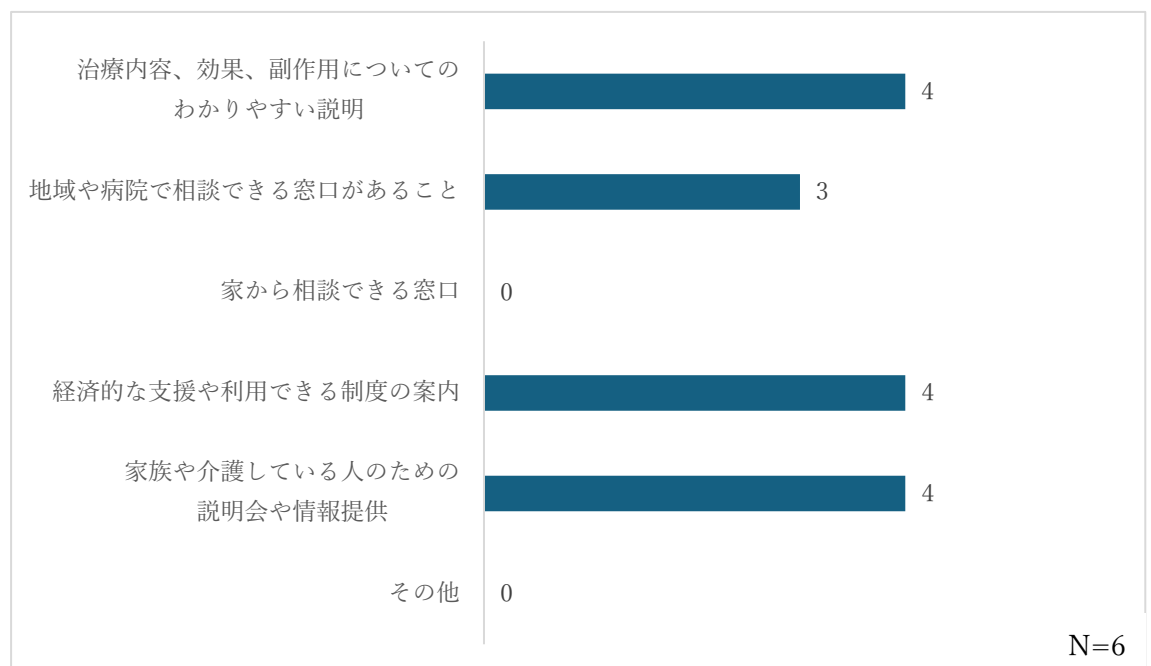
2. 抗アミロイド抗体薬に関して気になることや困っていることはありますか？（あてはまるものをすべて選んでください）



3. 抗アミロイド抗体薬の治療を希望しない場合、あるいは希望したが治療の条件に合わず治療を受けられなかった場合、どのような対応や支援を望みますか？（あてはまるものをすべて選んでください）



4. 抗アミロイド抗体薬の治療に関する支援や情報提供に関して、どのようなものがあればよいと思いますか？（あてはまるものをすべて選んでください）



5. APOE 検査について聞いたことがありますか？

	度数	%	有効%	累積%
知らない	6	11.1	100.0	100.0
システム欠損値	48	88.9		
合計	54	100.0		

「よく知っている」→6へ

「少し聞いたことがある」「知らない」→8へ

6. APOE（アポイー）検査について、どのように感じますか？（あてはまるものをすべて選んでください）

該当者なし

7. APOE（アポイー）検査の保険適用について、どのように思いますか？

該当者なし

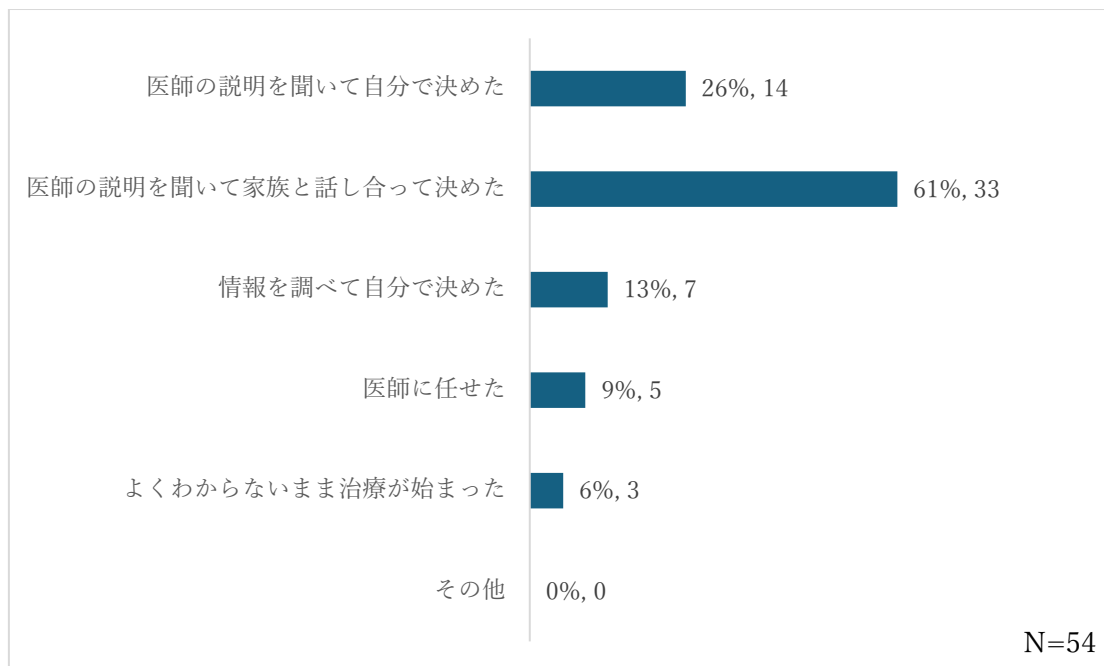
8. 認知症の検査や治療、支援全般に関して困ったこと・不安なことはありますか？

- ・ 今後どうなるか不安
- ・ 副作用

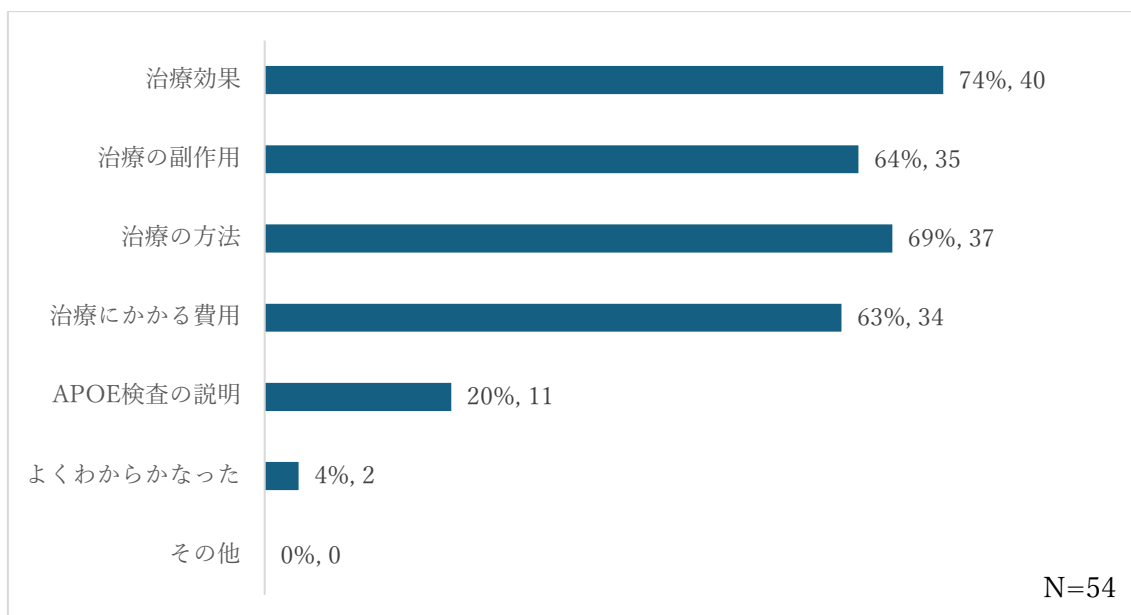
【セクション B】

回答者 48 人

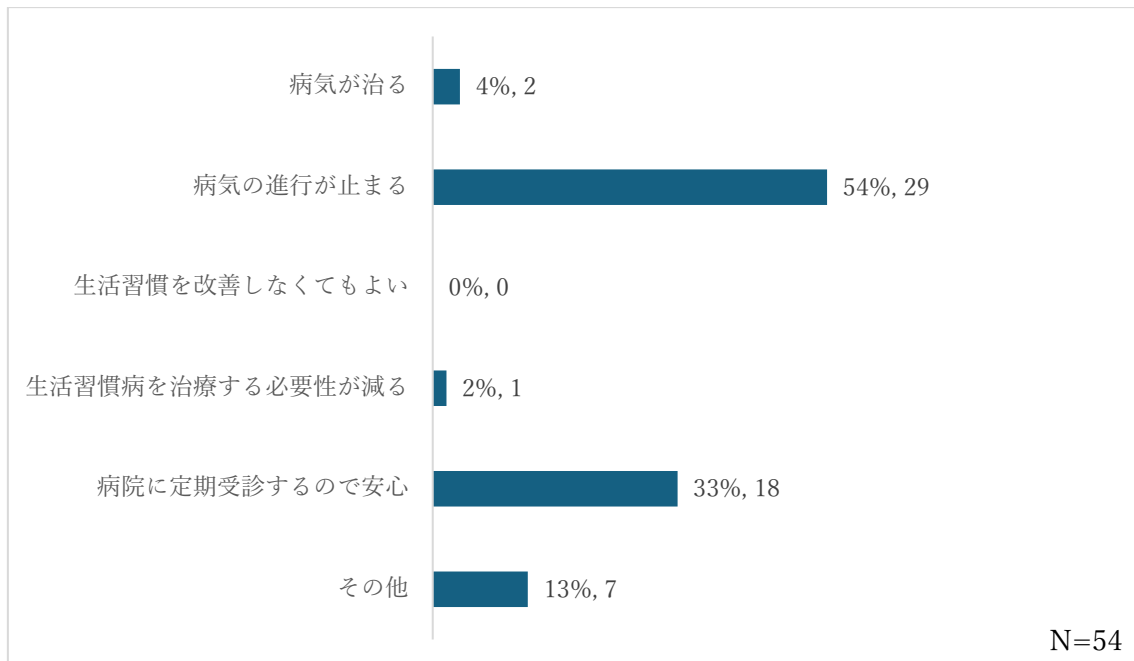
1. 抗アミロイド抗体薬による治療を受けるにあたり、どのように決めましたか？（あてはまるものをすべて選んでください）



2. 説明を受けた内容で十分に理解できたと思われるものに○をつけてください。（あてはまるものをすべて選んでください）



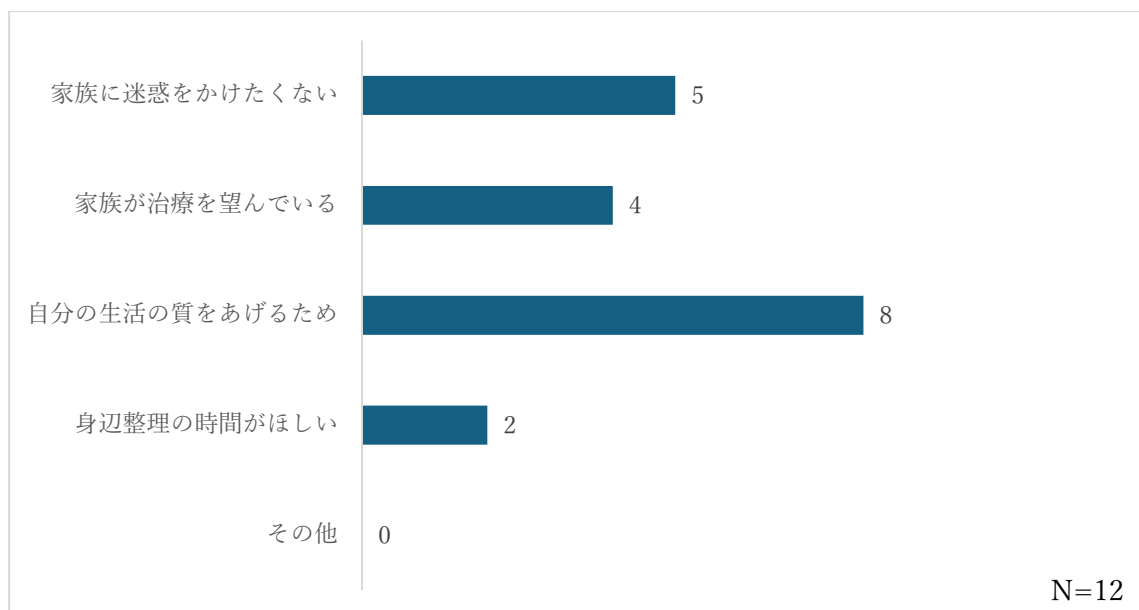
3. 抗アミロイド抗体薬の治療のイメージをお聞かせください。（あてはまるものをすべて選んでください）



その他自由記載（記載者 6 人）：あまりに進行速かったので、少しでも効果がのぞめるならと（1 人）、進行を遅らせる（5 人）

4. 抗アミロイド抗体療法を受ける目的として重視した点は何ですか？（あてはまるものをすべて選んでください） ※この質問は患者様ご本人のみお答えください。

回答者 12 人



5. 抗アミロイド抗体薬による治療に対する満足度を教えてください。

	度数	%	有効%	累積%
非常に満足	3	5.6	6.8	6.8
やや満足	15	27.8	34.1	40.9
どちらともいえない	22	40.7	50.0	90.9
やや不満	2	3.7	4.5	95.5
非常に不満	1	1.9	2.3	97.7
その他	1	1.9	2.3	100.0
合計	44	81.5	100.0	
システム欠損値	10	18.5		
合計	54	100.0		

その他自由記載（記載者1人）：まだわからない（1人）

6. 抗アミロイド抗体薬による治療効果についてどのように感じるか、おおまかな印象で結構ですのでお答えください。

	度数	%	有効%	累積%
よくなった	2	3.7	4.5	4.5
少しよくなった	11	20.4	25.0	29.5
変わらない	18	33.3	40.9	70.5
少し悪くなった	7	13.0	15.9	86.4
悪くなった	2	3.7	4.5	90.9
その他	4	7.4	9.1	100.0
合計	44	81.5	100.0	
システム欠損値	10	18.5		
合計	54	100.0		

その他自由記載（記載者4人）：わからない（3人）、良くなったかどうかわからないが、病気について何らかの治療を行うことができ、それが気持ちの安定につながっている（1人）

7. 抗アミロイド抗体薬による治療は、開始から半年間は治療を開始した病院で、その後の投与は近くの病院に移って治療を継続することが多いです。現在のあなたの状況を教えてください。

	度数	%	有効%	累積%
開始時と同じ施設で投与	28	51.9	62.2	62.2
かかりつけ医で投与	6	11.1	13.3	75.6
上記以外の施設で投与	2	3.7	4.4	80.0
開始してまだ半年たっていない	3	5.6	6.7	86.7
その他	4	7.4	8.9	95.6
欠損値（複数回答）	2	3.7	4.4	100.0
合計	45	83.3	100.0	
システム欠損値	9	16.7		
合計	54	100.0		

その他自由記載（記載者2人）：終了した

8. 半年以降の投与を受ける施設の希望について伺います。

	度数	%	有効%	累積%
開始時と同じ施設が望ましい	31	57.4	72.1	72.1
かかりつけ医が望ましい	6	11.1	14.0	86.0
上記以外の施設が望ましい	2	3.7	4.7	90.7
いずれでもよい	3	5.6	7.0	97.7
その他	1	1.9	2.3	100.0
合計	43	79.6	100.0	
システム欠損値	11	20.4		
合計	54	100.0		

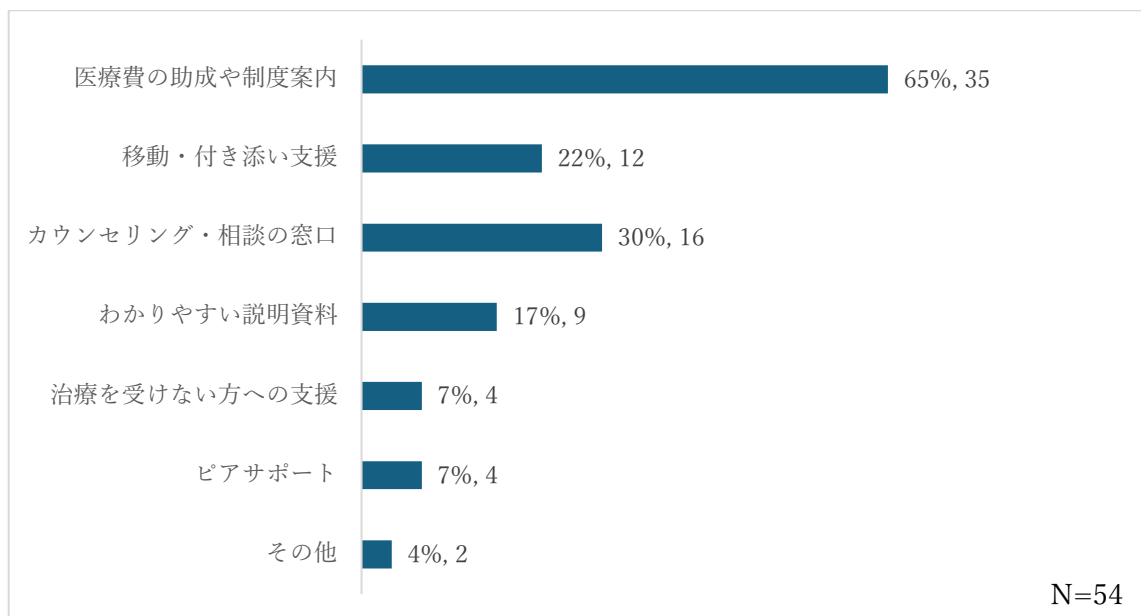
その他自由記載（記載者1人）：NCNPに変わるなら

9. 抗アミロイド抗体薬による治療は、1年～1年半行う必要があります。その後に治療を継続するかどうかは、その時の状態を含めて医師と相談することになります。予定された治療期間の後にあなたが望むことを教えてください。

	度数	%	有効%	累積%
DMTの継続を希望する	18	33.3	42.9	42.9
DMTは終了し、従来の治療やケアの継続を希望する	6	11.1	14.3	57.1
DMT終了は終了し、従来の治療やケアも希望しない	2	3.7	4.8	61.9
わからない	12	22.2	28.6	90.5
その他	2	3.7	4.8	95.2
欠損（複数回答）	2	3.7	4.8	100.0
合計	42	77.8	100.0	
システム欠損値	12	22.2		
合計	54	100.0		

その他自由記載（記載者2人）：医師の判断にまかせる（1人）、医師と相談（1人）

10. 抗アミロイド抗体薬による治療において、どのような支援が必要だと感じますか？（あてはまるものをすべて選んでください）



その他自由記載（記載者2人）：効果の見える化（1人）、地元の病院（紹介元）での治療ができるようにしてほしい（1人）

11. APOE 検査について、聞いたことがありますか？

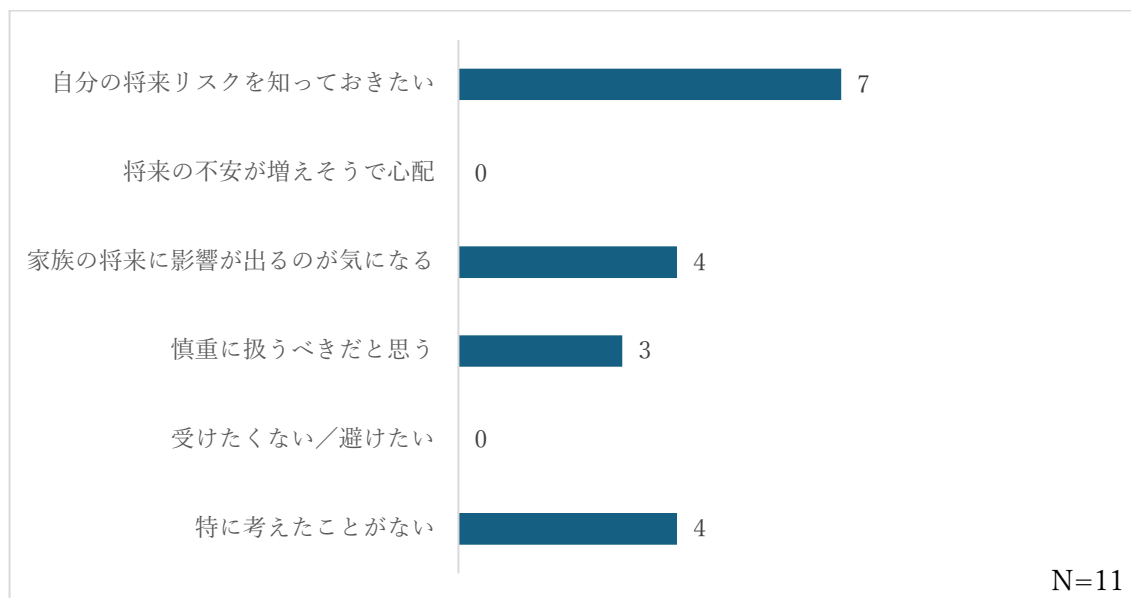
	度数	%	有効%	累積%
よく知っている	11	20.4	25.6	25.6
名前だけ聞いたことがある	12	22.2	27.9	53.5
知らない	20	37.0	46.5	100.0
合計	43	79.6	100.0	
システム欠損値	11	20.4		
合計	54	100.0		

「よく知っている」→12 へ

「名前だけ聞いたことがある」「全く知らない」→14 へ

12. APOE 検査について、どのように感じますか？（あてはまるものをすべて選んでください）

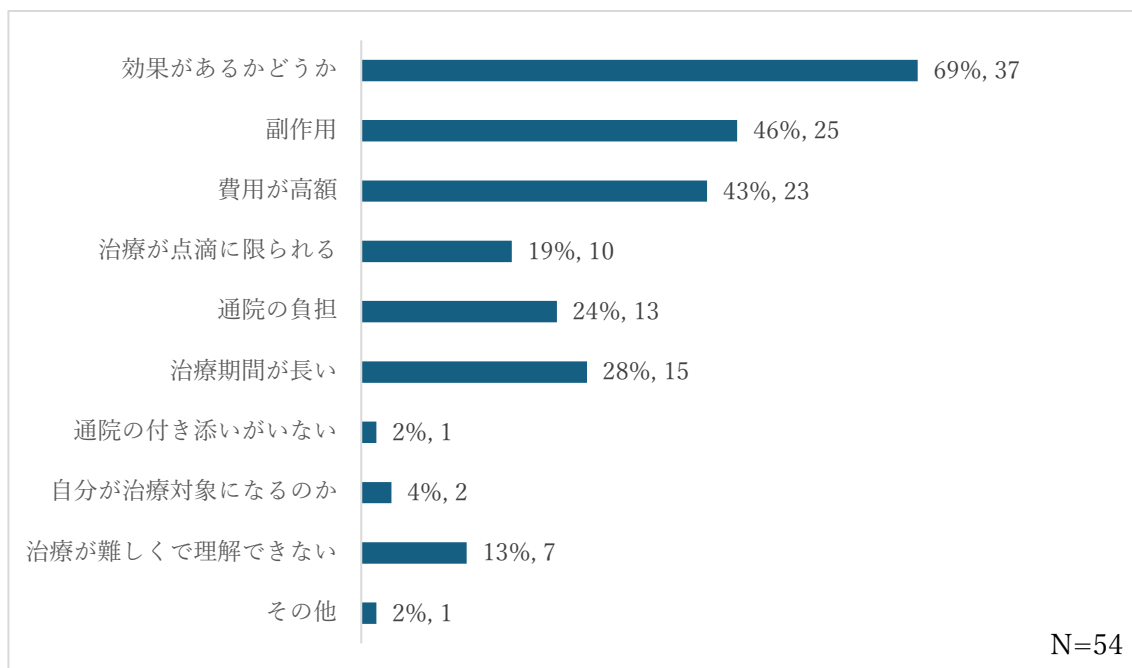
回答者 11 人



13. APOE（アポイー）検査の保険適用について、どのように思いますか？

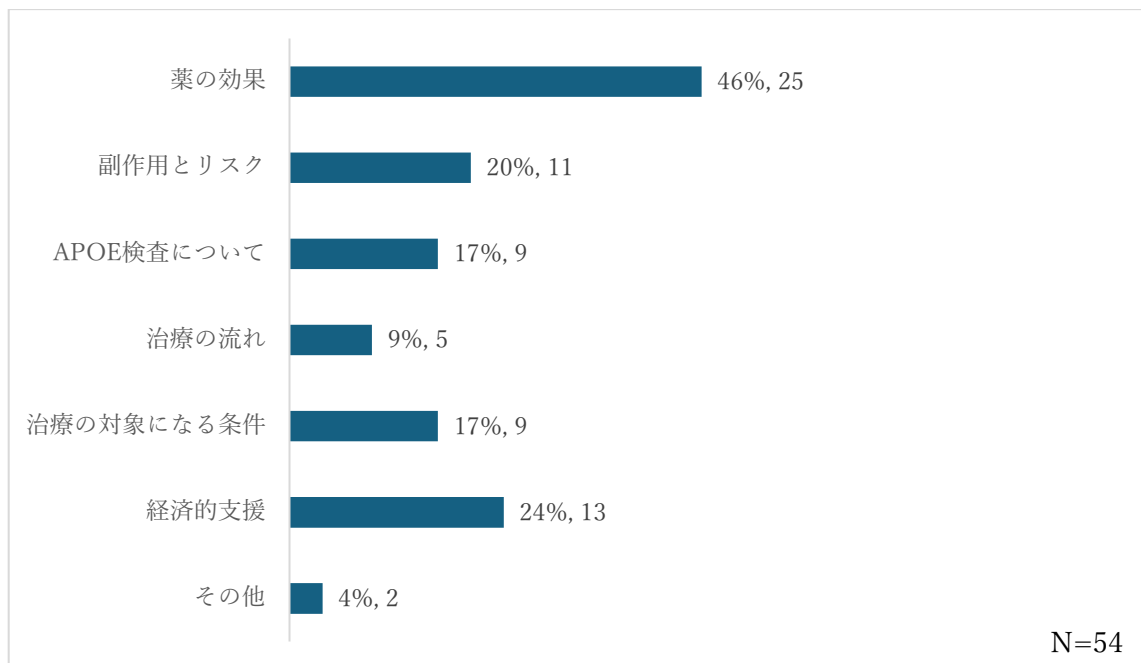
	度数	%	有効%	累積%
DMTに限り保険適応	7	63.6	70.0	70.0
DMTに関わらず保険適応	1	9.1	10.0	80.0
関心がない	1	9.1	10.0	90.0
わからない	1	9.1	10.0	100.0
合計	10	90.9	100.0	
システム欠損値	1	9.1		
合計	11	100.0		

14. 抗アミロイド抗体薬による治療について気になる点は何ですか？（あてはまるものをすべて選んでください）



その他自由記載（記載者 1 人）：特になし

15. アミロイド抗体薬による治療について不足していると感じる情報は何ですか？（あてはまるものをすべて選んでください）



その他自由記載（記載者 1 人）：どこの病院で取り扱っているのか（1 人）

16. 認知症の検査や治療、支援全般に関して困ったこと・不安に思うことはありますか？

本問の自由記述回答については、内容の類似性に基づき分類した。

1. 治療効果

- ・ 薬の効果
- ・ 進行を遅らせるだけで改善がなされない点
- ・ 認知症の症状がどの程度止まるのか？

2. 認知症の進行や将来に関する不安

- ・ 今後重症化した場合の不安
- ・ 今後どのように進行していくのか。何年くらい生きられるのか。
- ・ 治療完了後に症状が進行しないか
- ・ この治療は治すのではなく進行を遅らせるだけで、いずれ進行するとの認識である。その遅らせる期間も期間等もはっきりしていないという認識だ。これからどのように症状が進んで、家族がどのように対処するか不安である。

3. 家庭の状況に関する不安

- ・ 自分（家族）がいつなるか。早く血液検査でわかるようになってほしい。

- ・不安は家庭内に関してなばかりです。検査や治療に関して特に困ったことはありません。
- ・家族に対しての本人の対応

4. 治療に伴う負担

- ・高額すぎる。精神的負担が大きい。
- ・地元の病院（元の紹介元）で点滴を受けられるようにして欲しい。
- ・付添人が体調が悪いなどで一緒に来られないとき、どうしたらよいのだろうと不安になる。安心して治療を受けるシステムがあったら教えて欲しい。

5. 説明や理解の不足による不安

- ・一生この治療を続ける必要があるのか？が解らなくて不安である。
- ・ドナネマブ点滴が終わる時間が早いときがあり、認知症の母が点滴がまだ残っているのに看護婦さんに針を抜かれたと心配している時がありました。そういうときはその都度、患者にも説明してほしいです。

6. 認知症が早期であることによって生じる不安

- ・見た目は普通に見えるため、責任能力が社会的にどのように扱われるのか（普通の認知症との違い）が不安です。

7. その他

- ・十分な説明を受けているので、特に困ったこと、不安はありません。
- ・治療法が少ない
- ・ドナネマブで OK と言われたので治療を始めましたが、増量したら4回目、5回目と下半身にブツブツが出て大変でした。仕方なくインターバルをとって、レカネマブに変更しました。今のところはまあまあ順調です。